

情報ネットワーク設計業務に係る技術提案

業務の目的

事務所管内に敷設されている光ファイバ通信網の更なる有効利用を図るためね光および多重無線ネットワークを有効活用し、本システムを河川管理、道路管理に役立てるためのネットワーク構築をおこなう。

業務方針

[1]既存システムの把握

既設計および計画資料、導入機器の完成図書、現地調査によりシステムの基本構成や運用上の問題点を抽出し、施設計画に反映させる。

[2]管内状況への適用

本工事事務所は道路、河川の事業を運用管理しており、事務所・出張所の階層ごとで必要情報（映像、データ）が異なる。このため、監視目的や必要情報が異なることから各々の運用上の目的を十分踏まえた計画とする。

[3]既存システムとの融合

光伝送方式は急速に技術変化しており、導入済みの光伝送設備と今回計画する設備との融合性を図り、経済的で信頼性の高い設備を構成する。さらに、信頼性の向上を目的として光回線の二重化や多重無線の利用などを配慮した計画とする。

[4]LAN 間相互接続と運用面の向上

LAN 間相互接続は支線系と重要情報システムとの接続であるため、LAN のセキュリティを十分に配慮した計画とする。また、地図情報の利用や IP ネットワークの利用を検討し、フレキシブルで機能向上が容易なシステムとする。

[5]コスト削減と景観性への配慮

標準仕様を基本とするが、最新の技術動向や汎用品の導入などを評価し、信頼性の向上とともにコスト削減を図る。また、設備設置位置に対して周辺状況に配慮した計画とする。